

2026年3月3日 第3559回例会 会場：川越プリンスホテル5階

会員数：102名 免除出席者：12名 正会員出席者：46名 出席者：58名 早退：0名 出席率：63.04%

プログラム

点鐘（12：30）／ロータリーソング（第1例会：君が代、奉仕の理想）／ビジター・お客様紹介／会長の時間／幹事報告／委員長報告／ニコニコボックス／出席報告／卓話／点鐘（13：30）〈司会：山崎SAA〉

《ビジター・お客様紹介》なし

会長の時間

2025-26年度 会長 吉澤 徳安

◇理事会報告

- ・会員の退会：住友生命埼玉支社真鍋会員 3月25日付退会。
- ・プロトコールについて：野溝会長エレクトのもと戦略計画委員会、ラーニング委員会にて議論。今後積極的に推進していくという事で西川年度の会長幹事から次年度の会長幹事までの8名で推進していくことで合意。
- ・26-27年度米山記念奨学生受入れについて、当クラブは希望することに決定。
- ・川越市交通安全推進協議会 4月からも引き続き対応
- ・4月8日東京RCのメーキャップ参加者募る
- ・4月28日座禅例会開催
- ・5月19日オープン例会開催

◆RLI ファシリテーター研修会

高野孫左衛門 PDG について（甲府RC）

RIは2023年7月より名称変更を行い、研修からラーニングとなった。

情報社会において Training 型はAIが行い、人は Learning 型になっていく。「ファシリテーション」とは「三人寄れば文殊の知恵実現す



る4人目の役割」。環境を整えて集まった人が持てる力を存分に発揮できるようにするのが「4人目」の役割。すなわちファシリテーターの役割となる。現代のように世界が絶えず変化し、不確実で複雑で、曖昧な時代においては、問題に対する答えを前例や有能な個人に頼ることは困難である。そのような時代においては、過去の偉業に倣うのではなく、卓越した個人に頼るのでもなく、多様で多彩な一人ひとりの個性に基づく知恵を集め、混ぜ合わせて、「これからの答え」とともに創っていくことが必要になる。ファシリテーションの要点は、「安心、充足、共有、関係、段階、焦点、期待、刺激」の8項目である。

◆同床異夢の日米関係

古関彰一著 「虚構の日米安保」筑摩選書の紹介
表彰 R財団ポールハリスフェロー 塩野会員

幹事報告

2025-26年度幹事 高橋 哲彦

- ・3月のロータリーレート
1\$ = 156円
- ・配布物：会報



委員長報告

野溝会長エレクト：川越RCのプロトコール。



服装について協議、世代間の価値観の相違を合意形成などに配慮しながら、統一コードを決めていきたい。28日地区RC財団、補助金の戦略セミナーに参加。川越RCは一人当たり174ドルの寄付実施。地区目標210ドル、次年度もその目標を依頼されている。

次週卓話 青少年奉仕委員会

京野委員長

3月13日から1週間、世界ローターアクト週間。東京国際大学のローターアクトクラブの学生と共に卓話。



ニコニコボックス

●池袋賢一会員本日の卓話よろしくお祈りします。楽しみにしております。<会長、幹事>

●池袋会員、本日の卓話よろしくお祈り致します。<相原、馬場

(常)、西澤、高橋(徹)、和田(尚)、神谷、小杉、西川、野溝、小高、藤井、山田(哲)、和田(喜)、小川、中野(文)、小林(勇)、戸口、小橋、栗原、町田、齊藤(智)、長岡、鈴木(尚)、塩野、中田(浩)、水村、菊池>

●明日は川奈への親睦旅行です。雨は降らない様に段取りしときます。朝5時集合なので、プリンスに車で来る人多いと思いますが、36時間の駐車券を津田さん宜しくお祈りします。<小林(勇)>

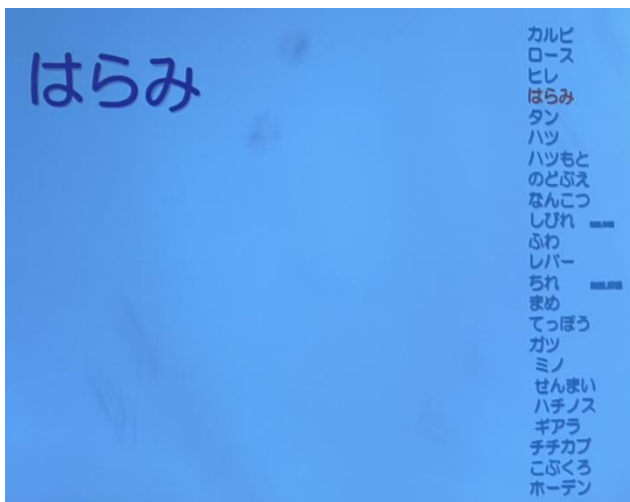
●3月1日～7日は春の火災予防週間です。家事は何ひとつ良い事はないので皆さんで火災予防にご協力お祈りします。<山田(和)>

●久方振りに恵みの雨！農作物等に良い影響が出るので喜ばしいです。<西澤、山田(哲)、小川、山田(和)、小林(勇)、栗原、佐藤、荻原、鬼頭、中田(浩)>

(敬称略) 合計44,000円

卓話

講師：池袋 賢一会員 テーマ：はらみ



人間のはらみはどうなっているのか？

はらみとは、横隔膜です。胸と腹の境目にある。呼吸は肺の役割。換気、ガス交換、酸素の循環の仕事があり、呼吸ができることになる。横隔膜の仕事は、肺を膨らませること。肺は自分で膨らむことはできない。横隔膜が下がることによって肺が膨らみ、自動的に空気が肺の中に入ってくる。(実は中学校の理科の授業で学んでいます。)

人間は、肺で呼吸、魚は鰓で呼吸。ミミズなどは呼吸する道具すらない(皮膚呼吸)。鰓呼吸は、水がないと呼吸できない。その代わり肺がんなどの病気のリスクが全くない。肺魚という魚は水面から口を出して呼吸しており、人間の祖先となる。肺魚のような魚が丘にあがり、両生類になり爬虫類がでてきて最終的には哺乳類がでてきた。丘にあがった動物たちは肺呼吸をする。カエルは、横隔膜は無いため、口の中にためた空気を肺の中に押し込で呼吸する。

現在は大気中には21%の酸素濃度がある。太古の時代は二酸化炭素しかなかったが、植物ができて酸素を作り出すことになり30%もの酸素が空中



にある時代もあった。ある時代、天変地異により酸素が10%になった時、その時の生き物は呼吸が困難になったが生き延びるために工夫をし、哺乳類は横隔膜を作って呼吸をし、生き延びることができた。

最後に口と鼻について。空気の入り口と食べ物が入り口が同じ、大きな欠陥と思われる。衰えると、誤嚥が発生し誤嚥性肺炎などになる。肺炎は死因第5位。しっかり予防できれば、長寿につながる。それが大事です！